

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
お互いが声を掛け合い、働きやすい職場環境を自分事として考える職場環境づくり	
②学校名	
野洲市立野洲北中学校	
連絡先 0775-87-3693	
③取組分野(複数選択可)	
<ul style="list-style-type: none"> ■教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例 ■勤務時間の意識づけに関する取組 ■教育課程等(授業時数の点検、日課表の見直し、カリキュラム、教科担任制、行事の精選等)に関する取組 ■校務分掌(業務の平準化、業務削減等)に関する取組 ■部活動(外部人材、地域連携・地域展開、実施日・終了時刻変更等)に関する取組 ■外部人材の活用(スクールロイヤー・民間人材の活用等、コミュニティ・スクール、地域学校協働本部、地域ボランティア等含む)に関する取組 	
④直面していた課題(取組前の様子)	
<ul style="list-style-type: none"> ・行事前の雑務が多く、行事時期の月の時間外勤務が80時間近い教員が3割もいる状況だった。 ・教材の準備や行事のしおりの印刷が膨大にあった。 ・テスト後の採点時間がとれず、持ち帰りや遅くまでの業務となっていた。 ・休日や平日遅くまでの部活動の負担感があった。 	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体の取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
<ul style="list-style-type: none"> ・夏季研修会で、業務軽減策を全員で、各分野に分かれて協議し、軽減策を提案した。地域の方とも話し合いをし、地域で担えることも話し合った。 ・定期テストを2日間に分け、午前で終了し、午後は、採点時間に充てるように教育計画を組んだ。また、自動採点ナビを導入し、採点時間の短縮を目指した。 ・部活動の活動時間について、年間を通じて、16時45分までとした。 <p><u>取組のポイント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が主体的に考える機会を研修として取り入れた。 	<p>・働き方改革研修会 グループ協議 ←</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 行事に関する事(内容、時期、期間、取り組みなど) ← B: 部活動に関する事(時間、人材、取り組み、引率など) ← C: 授業に関する事(教材研究、準備、ICT活用など) ← D: 校時・時間に関する事(事務整理時間の確保、校時、短縮、繰り上げなど) ← E: 分掌に関する事(人材、偏り、取り組み方など) ← F: 評価に関する事(テスト、評価方法など) ← G: 会議に関する事(運営委員会、分掌会議あり方検討、参集範囲など) ← H: 職員室に関する事(レイアウト、環境改善、動線、仕事効率、場所確保など) ←
⑦取組の成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・業務削減を自分事としてとらえ、教員自らが考えることで、お互いが考え、声を掛け合い、帰宅時間が早くなった。 ・スクール・サポート・スタッフが、こまめに気づき、率先して取り組んでくれるおかげで、教員が働きやすく、わずかな時間も無駄なく、授業に向き合え、生徒と関わる時間が生まれた。 ・地域からも手助けできることを考え提案してくれた。 <p><u>成果のポイント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合うことで、お互いを大切にしよう、気遣いのある職場の環境・雰囲気づくりができる。 	